

# シンポジウム「グローバル人材を活用した関西の活性化を考える」 - 関西の成長戦略：human capital の視点から - 開催記録

日時：2013年8月5日（月）15:00～17:00

会場：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター  
（大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館 B2F）

プログラム： <敬称略>

・基調講演 「グローバル人材育成にむけての京都大学の挑戦」 松本紘 京都大学総長

・パネルディスカッション「関西は留学生の集積拠点となりうるか？」

パネリスト 大川晃平 文部科学省高等教育局 学生・留学生課 留学生交流室 課長補佐

生駒京子 (株)プロアシスト代表取締役

小川一夫 アジア太平洋研究所主席研究員・リサーチリーダー／

大阪大学社会経済研究所長

竹本正道 関経連グローバル人材育成・活用委員長／日東電工(株)相談役

コーディネーター 稲田義久 アジア太平洋研究所研究統括／甲南大学教授

参加者：約400名

主催：関西経済連合会、アジア太平洋研究所、

協力：読売新聞大阪本社、グローバル人材活用運営協議会

## ～概要～

### 基調講演 「グローバル人材育成にむけての京都大学の挑戦」

グローバル人材を語るには正しい時代認識が必要であること、京都大学の国際戦略、京都大学大学院総合生存学館“思修館”についてなど、京都大学のグローバル人材育成にかける思いを込めた講演を頂いた。

### パネルディスカッション「関西は留学生の集積拠点となりうるか？」

#### 1) 問題提起

稲田氏から、導入としてシンポジウムの問題意識についてコメント頂いたあと、大川氏から外国人留学生受入れに係る現状と取組について、小川氏から、関西への留学生は関西の活性化をもたらすのかという観点で企業と留学生へのアンケート調査結果を、生駒氏からはプロアシストの取り組みについて、竹本氏からは「グローバル人材活用運営協議会」設立の取り組みについて紹介をいただくなど、産官学それぞれの立場からの問題提起を頂いた。

#### 2) ディスカッション

①学生ないしは高度外国人をなぜ活用するのか、②グローバル競争の中で企業は何を求めているのか、③関西は留学生の集積拠点になりうるのかについて議論を行った。

生駒氏からは、中小企業には各企業それぞれのグローバル化があること、竹本氏からは、実行の重要性、小川氏からは産業集積が重要であること、大川氏からは情報共有の重要性、就労ビザ取得の課題、国の支援施策などについてのコメントなど、関西を留学生の集積拠点とするための多方面からの有益な指摘・提案がなされた。



基調講演の様子



パネルディスカッションの様子

